

町長あいさつ

町長 木村 要

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしく願いいたします。

平素は、精華町行政の推進にご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、精華町シルバー人材センターは、高齢者がその経験と能力を生かし、働くことを通じて地域社会に貢献し、生きがいを見出すことを目的として、平成15年3月に発足され、昨年3月に設立10周年を迎えられました。

この間、関係の皆さま方のご努力もあって、立派な業績を収められておられますことに対しまして、心より感謝申し上げます。

これまでを振り返りますと、年々、受注件数が伸びていることや会員数が増加していることは、同センターの知名度が高まったことと、働く意欲のある高齢の方が増加していることの現われであり、たいへん喜ばしいと感じております。

このことは、船越前理事長さまをはじめ、新たにご就任されました川野理事長さま、役職員と会員の皆さまのご努力が、住民生活の中にしっかり根を下ろしはじめた結果だと喜んでいただいております。

精華町は、今、限られた財源を有効かつ集中的に配分して、重点政策の実現に取り組んでおります。

特に、精華町第5次総合計画に掲げています『人を

育み未来をひらく学研都市精華町』という町の将来ビジョン実現に向けて、住民の皆さまのご協力をいただきながら、日々取り組みを進めています。その中でも、「安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり」は、シルバー人材センターの皆さまに直接かかわる施策であります。また、「未来をひらく文化と環境のまちづくり」などの施策も、同センターの事業と深く関連しております。

山積する行政課題の解決には、住民の皆さまのご協力、とりわけ永年の経験と知識、人脈で培われたシルバー人材センター会員の皆さまのご支援が欠かせません。

もちろん、シルバー人材センターの運営に対しましては、精華町としましても、できる限りの支援を惜しまない覚悟でおりますし、また、地域の活性化にも貢献していただくセンターとして大いに期待しており、引き続き、連携を深めてまいりたいと考えております。

今後も、精華町シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆さまのご健勝と、ご多幸をご祈念申し上げ、新年のあいさつとします。



■ 相談役に選任されて

相談役 船越 昇

府内センターで相談役制度があるのは精華町だけです。助言と応援できる外部からの人材登用を想定してまいりました。まさか自分がその第一号に選ばれるとは、想定外の出来事です。

会員の増強、仕事の確保、高齢会員の対応、それに事務所の建設など、センターが直面している課題は山積しています。役職員と一緒にこれらの問題解決に微力を尽くしていきたいと考えています。よろしく願いします。

理事会等のうごき

平成25年度第5回理事会 平成25年12月19日(木)

第14号議案 平成25年度第2次収支補正予算(案)の承認について
全議案を可決しました。